



毎月第3金曜日は、川西市の「人権デー」です！

○ 今月は、「識字」について考えてみましょう。

9月8日は、国際識字デーです。

1965年9月8日からイランで開催されたテヘラン会議において、当時のパーレビー国王が各国の軍事費1日分を識字基金に拠出することを提案したのがきっかけです。この会議のあと、アメリカのジョンソン大統領が米国議会に9月8日を「国際識字デー」に定めるように呼びかけ、UNESCOが制定しました。

日常生活で必要な文章を理解して読み書きできる能力を「識字」といいます。識字率は文字の読み書きができる人の割合を指します。日本では初等教育の純就学率は男女ともに100%、そのため識字率についても世界でも上位の水準ですが、世界では識字率が80%に満たない国や地域も多くあります。

世界では文字の読み書きができない人(非識字者)が約7億7,300万人(世界の15歳以上の7人に1人)いることが分かっています。



ユニセフ「世界子ども白書2019」より

識字率の低い国がかかえる問題。

- 学校がない。農村部や貧困地域には学校がない。
- 女性差別がある。女性は勉強するものではない。家事や家業を手伝うべき。
- 戦争・紛争が起きている。戦争や紛争のある地域では学校が閉鎖。

UNESCOでは、識字率を「日常生活の簡単な内容についての読み書きができる15歳以上の人口の割合」と定義づけています。

UNESCOによると、学校に行けない6~14歳の子どもが世界に約1億2100万人います。UNESCO「世界寺小屋運動について」より

4 質の高い教育をみんなに

持続可能な開発目標として定められたSDGsでもこの教育分野について取り上げられており、目標4に掲げられています。ここでは「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」ことをゴールとし、「質の高い教育をみんなに」には、「2030年までに、すべての青年と大多数の成人が男性も女性も含めて、識字と簡単な計算ができるようにする」という目標が定められています。

「よみかき教室かわにし」毎週金曜日 13:30~15:00

「夜間よみかき教室」毎週金曜日 18:00~20:00

参加申し込み随時可能

受講料無料

問い合わせ:総合センター TEL 758-8398



人権擁護委員による特設人権相談 ※予約優先・無料

9月15日(金) 13:00~16:00

10月20日(金) 13:00~16:00

川西市役所4階人権推進多文化共生課で、人権擁護委員による相談をお受けいたします。

TEL 740-1150

【問い合わせ先 川西市役所人権推進多文化共生課】



人権啓発ビデオ上映会

◆ 問い合わせ 総合センター TEL758-8398

★ 10月18日(水) 15時30分~ 作品:「くうとしの -あなたがそばにいて-」(12分)

介護猫「くう」と、認知症の犬「しの」の、感動の実話をもとにした道徳・人権教育アニメーションです。

★ 10月20日(金) ①10時~ ②13時~ ③16時~ 作品:「認知症と向きあう」(30分)

認知症によくみられる症状、認知症の人の思いと家族の気持ちの変化、症状の理解、介護者の交流の大切さなどを描いたドラマ教材です

